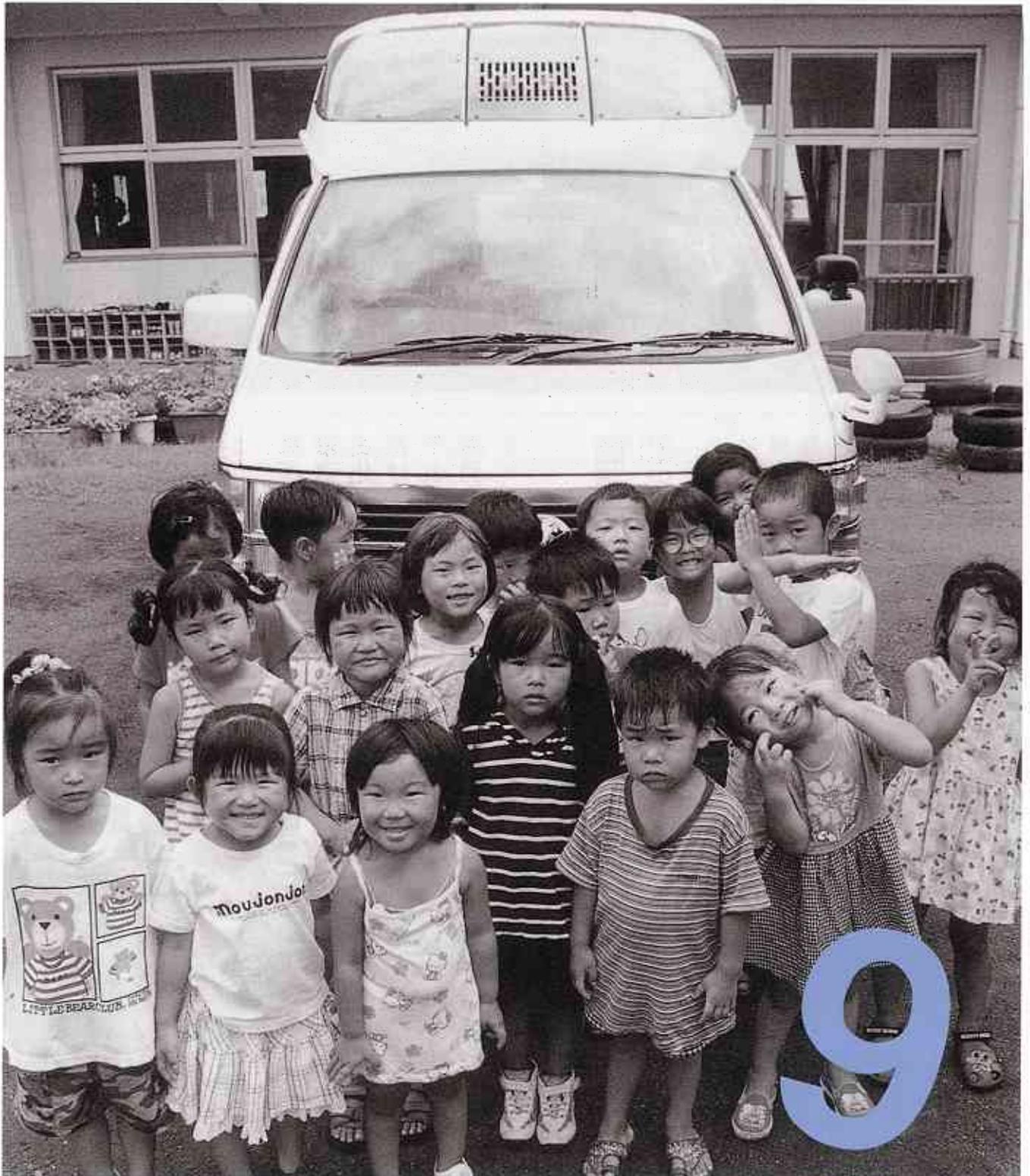


広報 ひゅうが

1999(平成11)年 9月号 No.532

◆今月の主な内容◆

◎特集・今、日向の農業は…2P ◆市政の動き（市民の声を聞く会、結核緊急事態宣言発令中、日向市「同和」問題研究大会）…8P ◆まちの話題（細島港まつり、わくわく体験こうみんかん99夏）…12P ◆みんなの広場…14P ◆お知らせ…16P ◆すこやか広場…20P



■9月9日は「救急の日」

救急車が8月12日、細島保育所を訪れました。初めて間近に見る救急車に園児らは大喜び。「皆さんは、絶対にこれに乗ることがないように元気に遊んでね」と救急隊委員が言葉をかけると、園児らは「ハイ」と元気よく答えていました。

 この広報紙は再生紙を使用しています。

特集

今、日向の農業は…



急速な高齢化社会への進展は、農業においても担い手の高齢化、後継者不足という大きな問題となっています。また、農畜産物輸入自由化や国内産地間の競争などと合わせ、これまでのように生産するだけでは生き残ることはできない厳しい現状になっています。それでは今、日向市の農業はどのような方向性になっているのでしょうか。今月号では、市の農業の現状と今後の方向性について紹介します。

畜産関係が生産額の80%超を占める

日向市の地形は、総面積の約60パーセントが山間地で平野部が少なく、海岸に沿って平野部が広がっています。年平均気温は16度。年間を通じて降雨量が多く、水資源に恵まれています。このような立地条件のもと、日向市の農家では、さまざまなものを生産しています。平成7年の生産農業所得統計を見ると、米を中心に大根、キュウリ、トマトなどの野菜、ミカンや平兵衛酢などの果実、花き、牛や豚、ブロイラーが、その主な

ものです。

生産額が多い順に見ると、第1位がブロイラーで68億9400万円、第2位が豚で5億9400万円、第3位が野菜で5億6100万円、米は第4位の5億5300万円となっています。畜産関係が、市内の農業総生産額の8割超を占めています。

農業粗生産額に生産農業所得率を乗じたものに補助金等を足した生産農業所得を、農家1戸当たりで算出した金額は、110万1000円です。この金額は、県内9市の中で一番低い状況です。一番高いのは、西都市で321万7000円となっています。

作物統計による農地面積の推移を見ると、昭和50年に1424・3ヘクタールあった農用地が、平成7年には1010ヘクタールに減少しています。内訳は、田が27・9パーセント、畑が36・8パーセントの減となっています。農業センサスによる平成7年度の経営耕地面積を規模別農家数で見ると、0・5ヘクタール未満が全体の52・5パーセントを占め、0・5ヘクタール以上1ヘクタール未満が同29・6パーセント、1ヘクタール以上1・5ヘクタール未満が同10・1パーセントなどとなっています。3ヘクタール以上耕作している農家は、わずかに1パーセントとなっています。この数字を昭和55年時と比べると、全体的に見て大規模農家が減少し、小規模農家が増加しています。

高齢化・兼業化が進み 委託件数が増加

同じ農業センサスによる農家人口の推移（下グラフ参照）を見ると、昭和50年に8680人（人口に占める割合16・2パーセント）であったものが、平成7年では4801人（同8・0パーセント）にまで減少しています。

これを年齢別に平成2年と比較してみると、15歳以下では30・0パーセント、16歳から29歳で17・1パーセント、30歳から59歳は20・8パーセントとそれぞれ減少していて、反面60歳以上が5・8パーセント増加し、農家人口の高齢化が急

速に進んでいることが分かります。

農家世帯の形態別では、平成7年の専業農家は248戸で平成2年に比べ1・5パーセント減少するとともに、総農家数に占める割合は1・2パーセントで高齢専業農家が増加しています。兼業農家は914戸で、このうち農業を主とする第1種兼業農家は212戸で平成2年に比べ17・1パーセントの増加。兼業を主とする第2種兼業農家は702戸で平成2年に比べて19・4パーセント減少しています。

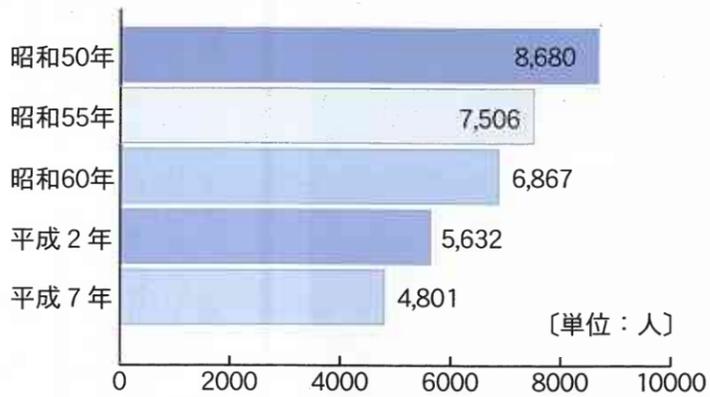
この結果、兼業農家は総農家数の78・6パーセントで、そのうちの60・4パーセントを第2種兼業農家が占めています。このように市内の農家では、農業従事者の高齢化が進むとともに、兼業農家が増加したことに伴い、収入の多くを農業収入に頼らない農家が増えてきている状況です。

一人ひとりの問題として 考えるくまの向の農業

農業は、非常に体力を要する職業です。このような状況下にあつて、農業従事者が減少する日向市の農業は、高齢者や女性に頼らざるを得ないなど、後継者不足が大きな問題となっています。

また、農業経営の安定化・効率化、所得の向上のために、「認定農業者を中心とする基幹的担い手をどのように育成していくか」「青果市場を通じた農業の活性化をどのように図っていくか」、米の

農家人口の推移（農業センサスによる）



生産調整や農業廃棄物の処理など「制度改正にどのように対応していくか」といったことも考えなければなりません。

農業を取り巻く環境は、日向市に限らず全国的に目まぐるしく変わっています。しかし、私たちの食生活を支える農業は、農家の皆さんだけでなく、私たち一人ひとりが考えなければならぬことでしょう。

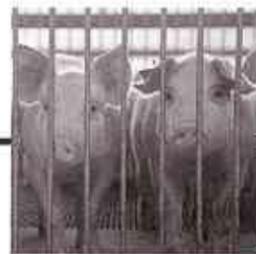
今、農業には、企業の経営感覚や知識が必要だと言われています。市内では、明日の農業を夢見、工夫努力して取り組んでいる農家の皆さんがいます。次の項では、市内の「頑張っている農家の皆さん」を紹介します。



インゲン



ニガウリ



養豚



黒木英徳さん (61歳・美砂)
平成10年、会社を退職後、本格的に農業に従事する。現在、ハウス栽培によるインゲン10アールと米30アールを手がける。

3人が農業に取り組み始めたのは、2年から4年ほど前と、ごく最近です。就農するに当たって、図書館で本を借りたり、大分県や宮崎市方面に視察に出掛けたりしたそうです。
「他市町村は、近代化した農業を行っています。そして、どこの市町村でも、

このまま10年経過すれば、若い農業者はいなくなる。新たな農業の魅力を作っていきたいと思えます。

「会社を退職後、何も仕事をしないのはどうかかと考えていました。そんなとき、農協の方から補助が出るからハウスインゲンに取り組んでみないかと言われたんです」
黒木英徳さんは、このようにインゲンのハウス栽培に取り組むようになった訳を話してくれました。
黒木さんのハウスは、秋留区にあります。もともと、40アールほどの田で稲作だけに取り組んでいた黒木さんですが、ハウス栽培は素人同然。しかし、昨年は、農協指導員の指導のおかげもあって、市内のインゲン栽培農家の中でも一番の働きだったと言います。
「ハウス栽培1年生なので、本当に分からないことばかりでした。特に、害虫や病気予防のための薬剤散布の時期や量

農業は天候に左右される難しい職業ですが、自然の恵みを直に味わえるところがいいですね



西野 陸さん (36歳・奥野)
植田洋子さん (32歳・奥野)
3人の女性グループで、昨年開所した日向青果市場へ、ニガウリやホウレンソウ、コマツナなど施設野菜を出荷している。

特産品やブランド品といったものが確立されています。日向にも、そういうものができる、若い人たちも農業にもっと魅力を感じ、取り組んでくれるのではないのでしょうか」と植田さん。
現在、西野さんらは、自分たちでそれぞれに栽培した野菜を、一緒に市場へ出

荷しています。あわせて、農産加工品の原料として乾燥野菜を埼玉県へ出荷しています。
「このまま10年経過すれば、日向の農家には、若い人は一人もいなくなってしまう。同じ作物をみんなで作ったら値崩れしてしまうというのではなく、安定供給を目指して作物の産地化を確立し、新たな農業の魅力を作っていきたいと思えます」と3人は、若い人の農業への取り組みを呼びかけています。

「農業は、天候に左右される難しい職業ですが、ハウス栽培ではその点は安心です。それよりも、自然の恵みをじかに味わえるところがいいですね」
黒木さんのインゲンは、農協を通じて大阪方面に出荷されます。11月には、今度の正月用に出荷するインゲンの植え付けが始まります。昨年まで繁忙期にはパートを雇っていた黒木さんですが、今年からは定年退職した奥さんと二人三脚でインゲン栽培に取り組みます。



高橋安光さん (42歳・永田)
平成7年12月20日に認定農業者に認定。父母と義妹の4人で、養豚を中心に250アールの果樹栽培に取り組む。

高橋安光さんの豚舎は、東郷町境の高い丘の上にあります。母豚100頭を抱え、繁殖豚の一貫経営に取り組んでいます。
「認定農業者制度は、融資面などで本当に助かっています。この豚舎も平成10年に、それを利用して建てたものです」と、高橋さんは認定農業者制度の利点を語ってくれました。
高橋さんは高校卒業後、県外の農家で2年間研修を積んできました。当初、果樹栽培が中心であった自宅の農業に、収入のよかった養豚業を取り入れ、規模を拡大してきています。
「農業が難しいのは、価格の変動があるということ。豚にしても果樹にしても、その年々で価格が大きく変わります。価格が安定していれば、生活設計や農業経

営も計算できるのですが」と高橋さんは、行政の農業に対する価格保証の必要性を訴えます。また「だからこそ農家にも企業的感觉が必要だ」と言います。
「専業農家に収穫の喜びといったものはありません。消費者ニーズにいかに対応して、自分たちの収入を高めていくかということが一番大切です。同業の農家間でも競争がありますので、後手後手に回ってはいけません。一家が路頭に迷う結果となります」と、これからの農業にとって消費者ニーズに対応することの重要性を訴えています。
また、高橋さんは、地元の農業に対する理解も、消費者の皆さんに呼びかけています。そのためにも、生産者の顔が見える農業を作り上げていきたいと語ってくれました。



肥育牛

牛を通じて若い人たちとの交流が保たれています。牛を飼っていて本当によかったと思っています

幸脇地区の東郷町境で肉用牛の飼育、稲作、果樹の栽培に取り組むのは、川野壽志さんです。

「牛にしろ、米にしろ、ミカンにしろ、勉強しないことには始まりません。いいものを作ろうと思ったら一生懸命に勉強することが大切です」と川野さんは笑顔で語ります。

川野さんは以前、岩脇地区の同業者を集め「同志会」を結成しました。会員は約20人で、川野さん自身が講師となって畜産の勉強会を行ったそうです。そのため、全国から資料を取り寄せたり、多くの人の話を聞いたりして、自分自身も一生懸命勉強しなければならなくなったそうです。そのとき勉強したことが今でも生かされていると語ります。

「仕事は、儲けないとだめ。勉強して

先見の目を養うことが、儲けるための第一歩です」と川野さん。以前は、30頭ほどいた繁殖牛も、現在は10頭の繁殖牛と6頭の子牛に減り、農業の中心的担い手も息子さんのお嫁さんに受け継がれています。しかし、寒い夜中の牛の出産にも、心配で立ち会うことが多いそうです。

「人は年をとると、みんなに相手にされなくなり寂しいものです。でも私の場合、牛を通じて若い人との交流が保たれています。牛を飼っていて本当によかったと思います」。

平成6年には50年にわたる肉用牛繁殖の貢献に対し(社)宮崎県畜産会から表彰された川野さん。今でも、牛の品評会ごとに若い人たちが、川野さんに声をかけてくれるそうです。

景気によって左右される花の価格。花が好きだとか、興味があるのでは、決して花づくりはできません

自然と花づくりを始めていました」と児玉さん。

昔は、高価な物と言われた花ですが、今ではどこか家庭でも事あるごとに花を購入することが多くなり、大衆向けになったと言われます。

「花の価格は、景気によって左右され



オンシジューム

「花が好きだとか、興味があるとかでは、決して花づくりはできませんね。夏場、ビニールハウス内での作業は、とてもつらいものがあります」。

曙区にあるビニールハウスで、花き栽培に取り組むのは、児玉寛仁さんです。児玉さんは、大学卒業後、昨年から父親の朝臣さんと一緒に、洋ランや草花を栽培しています。

「大学では、法学部に在籍していましたが、父親の仕事ぶりを見ているうちに、



児玉寛仁さん (25歳：笹野中) 大学を卒業後、父の経営する花きハウスで、オンシジュームなどの洋ランや草花の栽培に取り組む。

魅力ある農業を目指して

高齢化と兼業化、後継者不足が進行しつつある日向市の農業は今、農業経営基盤を早急に確立する必要があります。

つまり「だれが農地を管理していくのか」「農作業の主役はだれが担うのか」「将来にわたって農業を職業として選択し得る魅力とやりがいのあるものにするためにはどうすればよいか」ということを真剣に考えていかなければ、本市の農業の展望は定まりません。

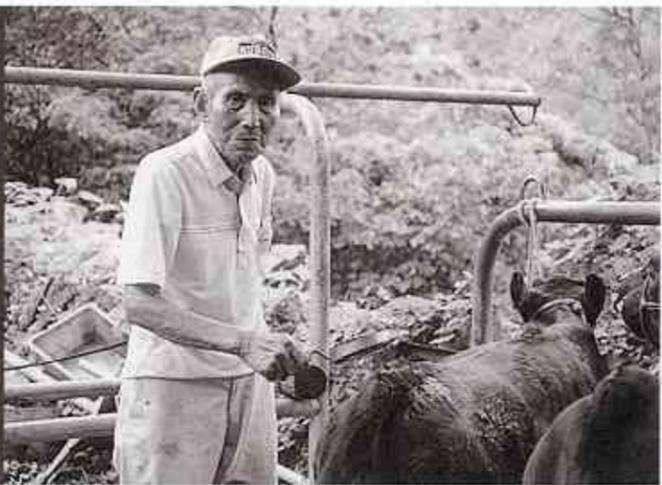
市は、この問題を解決に導く手段の一つとして「農業経営基盤の強化に関する基本的構想」を定めています。現に成立している優良な事例を考慮しながら、地域産業従事者並みの生涯所得に相当する年間農業所得と年間労働時間の水準を実現できるよう、県や農協、市農業委員会

などと協力しながら、農家の農業経営改善のための計画立案や見直しなどさまざまな方法により支援しています。

なお、経営改善計画が将来的に確かなものとして認証されると、「認定農業者」としてさらなる支援が受けられます。

農地の管理については、土地利用型の農業による発展を図ろうとする意欲的な農業者に、農地銀行活動や農地保有合理化事業の活用により集約し、将来的には基幹農業者による管理を目指す方向性が考えられますが、基盤整備率の問題や平地の少ない地域では一概に急速的な進展を期待するのも難しい面があります。

いずれにせよ、日向市の気候風土を生かした農業(畜産、施設野菜、露地野菜、米、果樹、花きなど)で、ほかの産地と



川野壽志さん (81歳：鳥川) 約60年間にわたり肉用牛の繁殖に取り組んでいる。農業の中心は、息子のお嫁さんに受け継いだ。今も現役で活躍。

ます。ですから、最近では、あまりいい状況とは言えませんね。特に草花などは、天候などによっても大きな影響を受けますので、雨の多かった今年などは、草花の単価が安く運送料さえも稼げない状況です」と父親の朝臣さんは言います。現在、児玉さん宅で栽培している洋ラ

ンは、オンシジューム、デンファレ、グラマトワイラムの3種類。しかし、今なお、低コストで安定した収入につながる種類を模索しています。

「本格的に花づくりを始めてまだ1年です。理想の花づくりなどは分かりません。しかし、将来は、もっと規模を大きくするとともに、高収益につながるような花づくりに努めたいと思います」と、児玉さんはビニールハウスの中で熱く夢を語ってくれました。

「食料、農業、農村基本法」が、7月に制定されました。この中では、食糧の安定供給の確保、国土保全などの多面的機能の十分な発揮、農業の持続的発展、生活環境や生産条件の整備など、これからの農業を取り巻く環境の整備が掲げられています。既に、その実現に向けて各機関が動き出しています。

農業の問題は、食糧の自給自足の問題だけでなく、国土保全など環境の問題として、農家だけに与えられた問題ではありません。私たち一人ひとりが、自身の問題として考えていくことが大切なのではないでしょうか。きつと、それが、足腰の強い、魅力ある日向市の農業の発展にもつながることでしょう。

結核緊急事態宣言発令中!

厚生省は7月26日、「結核緊急事態宣言」を発表しました。結核は、戦前から戦後にかけて日本人の死因の1位を占め、「国民病」と呼ばれました。近年、薬の発達や生活水準の向上により、患者の数は劇的に減り、その存在は忘れかけられていました。しかし、現在も年間約2700人が亡くなる国内最大の感染症です。最近では、高齢者の感染や病院、学校での集団発生など、新規の患者が増加傾向にあります。

この結核の病巣はほとんどの場合、肺に現れます。したがって、胸のレントゲン撮影は、結核の早期発見に有効です。また、肺がん等も早期に見つけることができます。

市は、次の日程で結核住民検診を実施します。この機会に、ぜひ受診してください。

結核住民検診日程表

日程	会場	時間	日程	会場	時間
9/10(金)	新財市会館	9:30~10:10	10/6(水)	新町公民館	9:30~10:20
	春原町県共済住宅	10:25~11:30		美々津老人福祉センター	10:30~11:00
	☆本谷公民館	13:30~14:30		☆落鹿公民館	13:30~14:00
	西川内公民館	14:45~15:30		☆高松公民館	14:15~15:00
9/13(月)	飯谷公民館	9:30~9:55	10/7(木)	宮の下公民館	15:10~15:30
	日向漁協構内	10:10~10:40		ナフコ駐車場	9:30~9:50
	遠見公民館	10:55~11:20		シルバー人材センター	10:10~10:40
	☆鶏毛公民館	13:30~14:20		アイショップ曾根店(元おいでや)	13:30~14:00
9/14(火)	☆粉木公民館	14:40~15:30	☆曾根公民館	14:10~15:10	
	松原公民館	9:30~10:10	平野児童公園	15:30~16:00	
	マルイチ財光寺店	10:20~11:30	新三ツ枝県営住宅	9:30~10:00	
	☆幡浦公民館	13:30~14:20	市営木原住宅	10:10~10:30	
9/17(金)	☆細島公民館	14:35~15:20	10/8(金)	市営大原住宅	10:40~11:20
	マルシヨク日知屋店	9:30~10:00	☆比良公民館	13:30~14:30	
	高砂児童公園	10:15~11:10	往還公民館	14:45~15:45	
	不動寺はせがわだんご横	13:30~14:20	市営櫛の山住宅	9:30~10:10	
9/21(火)	迎洋園団地第1公園	14:35~14:55	10/12(火)	江良公民館	10:25~11:30
	花ヶ丘公民館	15:10~16:00	☆富島漁協構内	13:30~14:30	
	美々津公民館	9:30~10:00	細島保育所	14:45~15:30	
	駅通り公民館	10:15~11:00	10/20(水)	県営塩見川西団地	9:30~9:50
9/22(水)	☆田の原公民館	13:30~14:00	総合福祉センター	10:05~11:00	
	余瀬公民館	14:20~14:40	☆奥野集落センター	13:30~14:30	
	別府公民館	15:00~15:30	☆永田集落センター	14:50~15:30	
	永江公民館	9:30~10:30	山下公民館	9:30~10:30	
9/28(火)	市営塩田住宅	10:45~11:10	10/21(木)	川路団地集会場	10:40~11:20
	☆堀一方公民館	13:30~14:30	亀崎汚水ポンプ場前(元亀崎公民館)	13:30~14:20	
	Yショップ浜店(元浜ストア)	14:45~15:05	亀崎中公民館	14:30~14:50	
	日知屋公民館	15:15~16:00	日向郵便局構内	15:00~15:30	
9/29(水)	権現原公民館	9:30~9:50	10/22(金)	ホームワイド駐車場	9:30~9:50
	日向市民健康管理センター	10:05~11:30	片岡商店駐車場	10:05~10:30	
	☆中村農村婦人の家	13:30~14:30	☆切島山2区公民館	13:30~14:20	
	☆広見公民館	14:45~15:30	長江公民館	14:40~15:30	
10/1(金)	学校給食共同調理場	9:30~10:10	10/27(水)	下原町公民館	9:30~10:15
	市営美砂住宅	10:30~11:00	原町農協直販所(配送センター)	10:30~10:50	
	☆金ヶ浜公民館	13:30~14:20	北町1区公民館	11:05~11:30	
	☆曙農村集落センター	14:40~15:10	☆梶木公民館	13:30~14:30	
10/7(日)	南日向公民館	9:30~10:00	庄手公民館	14:45~15:30	
	幸福寺駐車場	10:20~10:40	大王谷公民館	15:45~16:10	
	秋山公民館	13:30~14:10	10/31(日)	☆日知屋公民館	9:30~11:00
	向洋台公民館	14:20~14:40	11/7(日)	☆日向市民健康管理センター	9:30~11:00

(☆印の地区では、基本健康診査も同時に実施します)

市政の動き

皆さんの声を市政に生かします

市は、市民の意見を聴取して市政に生かすため、左表の日程で市政懇談会「市民の声を聞く会」を開きます。皆さんの市政に対するご意見、ご要望、ご提言を提出してください。

21世紀を目前に控え、市は都市基盤の整備、教育・福祉の充実、産業の振興、自然環境の保全など行政各般にわたり、均衡ある市政の発展に取り組んでいます。かけがえない郷土を市民の参加と協

力によってさらに発展させ、子孫に引き継いでいきたいと思えます。だれもが住みよい日向市をつくるためにも、多くの「市民の声」をお聞かせいただくとともに、市政懇談会「市民の声を聞く会」へ

の多数の参加をお願いします。ご意見、ご要望、ご提言のある方は、9月21日(火)までに各区長へ申し出てください。各区でまとめられた意見等は、各地区理事長が集約し、市へ提出していただきます。回答は、各地区の懇談会の席上で行います。詳しくは、市総務課(☎内線2234)まで。



さまざまな意見等が出された昨年の「市民の声を聞く会」

平成11年度「市民の声を聞く会」日程表

月日	曜日	地区名	区名	会場
10/5	火	新町・富高地区	南町、中町、本町、上町、旭通り、都町、北町2、中央、東草場、西草場、本谷、西川内、広見、中原、高見橋通り、春原、〔古城ヶ鼻県住〕	中央公民館(第4研修室)
10/15	金	塩見地区	新財市、権現原、塩見ヶ丘、中村、奥野、永田、〔千束口〕	農村婦人の家
10/18	月	財光寺地区	山下、比良、川路、往還、松原、切島山1、切島山2、長江、秋山、向洋台、〔大谷尻〕	財光寺南地区まちづくり事務所
10/19	火	日知屋本郷地区	上原町、高砂、下原町、江良、永江、公園通り、堀一方、曾根、幡浦、〔新生町1〕	日知屋公民館
10/22	金	日知屋枝郷地区	鶴町、亀崎中、亀崎東、向江町、日向台、北町1、花ヶ丘、庄手、梶木、大王谷、迎洋園、〔県教職員住宅〕	大王谷公民館
10/25	月	細島地区	清正、吉野川、地蔵、八坂、庄手向、八幡、高々谷、伊勢、宮の上	細島地区コミュニティセンター
10/26	火	平岩地区	美砂、曙、本宮、笹野東、笹野中、笹野西、金ヶ浜、粉木、鶏毛	南日向公民館
10/28	木	南部地区	遠見、幸脇、飯谷、立縫、新町、石並、駅通り、落鹿、高松、宮の下、別府、余瀬、田の原	美々津公民館

※時間は、いずれも午後7時から9時まで。〔〕内は独立班。

障害を理解しあった 99日向市ふれあいフェスタ

99日向市ふれあいフェスタが8月22日、日向市文化交流センターで開かれました。これは、障害を理解しあうために、障害者の声を聞き、体験し、一緒に遊び、学びあうというものです。今回のテーマは、「ワンフォアオール！オールフォアワン！（一人はみんなのために、みんなは一人のために）」。

会場には、小中学生の作品や施設入所者の作品の「展示コーナー」、車椅子やアイマスクなどの「体験コーナー」、福祉団体や施設入所者の作品、食べ物などの「販売コーナー」、手話落語や座談会の「がやがやコーナー」が設けられ、多くの人でにぎわいました。

また、ステージ発表中心の「わいわいコーナー」では、「しおみの里音楽クラブ」のメンバーがオープニングを飾って合唱と合奏を披露。会場からは、たくさんの拍手と声援が送られていました。



合唱と合奏を披露したしおみの里の音楽クラブ



指定書と助成金を受け取る団体の代表

花のあふれるまちを目指して

日向市花のあふれるまちづくり推進協議会は7月22日、今年度の花のあふれるまちづくりモデル事業団体等の指定式を行い、指定書及び助成金8万円を交付しました。指定を受けたのは、自治公民館や花づくり愛好会など19団体です。日向市花のあふれるまちづくり推進協議会は、平成6年度に自治公民館や商工業、農林水産業、まちづくりグループなどで組織されたものです。モデル事業推進分科会、花づくり推進分科会、ひまわり推進分科会に分かれて、それぞれに花のあふれるまちづくりを目

指して活動しています。指定を受けたモデル事業団体等は、次のとおりです。
▽鶴毛自治公民館▽梶木自治公民館▽新町自治公民館▽比良自治公民館▽亀崎東自治公民館▽別府自治公民館▽向洋台自治公民館▽切島山2区自治公民館▽学校用務員部会南▽学校用務員部会北▽細島花づくり愛好会▽金ヶ浜区花愛好会▽富高地区エビネ蘭保存会▽田の原花愛好会▽富高花と緑委員会▽日向養護学校▽日向花づくり愛好会▽花いっぱい堀一方区▽国際ソロプチミスト日向

21世紀を人権と共生の社会として

第17回日向市「同和」教育研究大会は8月17日、日向市文化交流センター等で開かれました。大会テーマを「差別の現実と深く学び、部落問題を一人ひとりの課題に」として、記念講演と分科会があり、多くの教育関係者や行政関係者、一般市民が参加しました。開会行事であいさつに立った赤木市長は、「21世紀を目前に控えた現在も、全国各地で差別事件が起きている。差別問題の解決には、



マスメディアと学校の果たす役割が大切と訴える塩見さん

自分自身の差別性に気づくことが大切」と今大会の必要性、重要性を強調。続いて市社会教育課の澄本課長が、「私たち一人ひとりが、すべての差別をしない、させない、許さないという取り組みを強く展開し、来る21世紀を人権と共生の社会として創造し人権文化を確立しましょう」と基調提案を行いました。記念講演は、作家の塩見鮮一郎さんが「むかしの差別・いまの差別」という演題で講演。塩見さんは、自分自身が差別や「同和」問

介護認定調査員5人に辞令

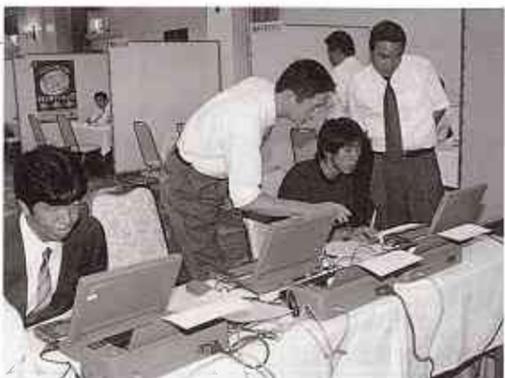


来年4月1日に施行される介護保険制度において市は8月3日、介護認定調査員5人に辞令を交付しました。調査員は、要介護認定審査の第1段階となる訪問調査を行うもので、看護婦・介護支援専門員などの有資格者で構成されています。

また、同日、日向入郷地域介護認定審査会委員36人にも委嘱状が交付されました。審査会は、要介護度の判定などを行う機関で、委員は医療、福祉、保健の各部門の学識経験者で構成されています。この認定審査会会長には、和田病院理事長の和田徹也さんが選ばれました。

題に関心をもつようになつたきつかけや、最近出会った事象などを織り混ぜながら、江戸時代から戦後にかけての差別の実状について紹介し、「同和問題の解決には、マスメディアと学校の果たすべき役割が重要です。21世紀が、真に平等で平和な時代となるよう、皆さん共に頑張っていきましょう」と訴えました。午後からは、4つの分科会に分かれ、教育内容の創造、社会啓発等について報告、研究討議が行われました。

ふるさとで働きたい



人気を集めた職業適正検査

「ふるさと就職説明会」が8月11日、ホテルベルフォート日向で開かれました。これは、Uターン希望者や来春、大学・短大・専門学校などを卒業する方などを対象に、地元企業への就職の機会を設けようと、毎年開催しているものです。説明会には、市内をはじめ近隣市町村に事業所を構える26社が参加。100人を超す求職者が会場を訪れ、希望する会社の説明を熱心に聞いていました。また、会場では、公共職業安定所や宮崎雇用促進センターのコーナーも設けられ、職業適性検査なども行われました。

全国中学校体育大会 実行委員会を設置

市は7月19日、来年8月に日向市で開催される全国中学校体育大会第22回全国中学校ソフトボール大会に向けて、実行委員会を発足させるとともに、事務局を市役所南側の旧法務局跡地に設置しました。

実行委員会は、宮副正克教育長を会長として、市教育委員会や中学校体育連盟、ソフトボール協会の代表者ら69人で構成。今後、開催に向けての諸調査や競技設備・用具の整備を行い、受け入れ体制の準備に取り掛かります。

同ソフトボール大会は、お倉ヶ浜総合公園及び大王谷運動公園野球場を会場に、全国から男子16チーム、女子20チームが出場する予定です。



事務局の看板を設置する市長と教育長

かけ声勇ましい伝統行事

日向市の夏を彩る「細島港まつり」が7月23日から3日間、細島商業港周辺で開かれました。

初日の夕刻、みどり幼稚園と細島保育園の園児による子ども神輿が町を練り歩き祭りがスタート。翌日には、この祭りのメインである太鼓台が登場し、「ヨイヤサ!ヨイヤサ!」のかけ声が勇ましくあたりに響き渡りました。東若と南若に分かれた太鼓台が、途中鉢合わせになると激しいぶつかりあいとなり祭り最高潮に。重さ約1トンの太鼓台を肩



にして歯を食いしばる担ぎ手に、沿道の観客からは大きな拍手や声援が飛んでいました。また、魚のタッチングコーナーなどが人気を呼んだ。「宝島夢の国」や体験航海、ステージでは民謡民舞大会や歌謡ショーが行われるなど多彩な催しで一日中にぎわいました。

最終日は伝統の神輿の海上渡御が行われ、八坂神社の神輿を乗せた船を先頭に約50隻の船団が大漁旗をなびかせ出港していききました。

リサイクルの大切さを学びました

この夏、市中央公民館では「わくわく体験こうみんかん99夏」と題し、小学生を対象とした様々な体験学習を行いました。

8月5日にはごみ体験学習を実施し、17名の児童が日向地区衛生施設組合の清掃センターを訪れ、ごみ処理の方法やリサイクルの大切さを学びました。まず、会議室でビデオや職員の説明を受け、燃やせるごみと燃やせないごみの処理方法の違いや資源ごみの取り扱いなど全体のしくみを学習。工場では一日160トン（収集車90台分）のごみを燃やせることやごみの処理には多くの経費がかかることなど、説明の一つひとつを熱心にメモしていました。

工場見学では、次々と収集車で運ばれてくるごみの量にびっくりしたり、コンピューターで集中管理された中央制御室の計器盤を興味深くなるぞいたりする姿も。また、実際に燃えている焼却炉の様子を見ると「わあ」と歓声を上げるなど、蒸し暑い工場内でも額に汗をかきながら熱心に説明に聞き入っていました。

地球的規模で叫ばれている環境問題。身近なところで私たちに何ができるのか。参加者の皆さんも多くのことを学んだことでしょう。

広報紙に掲載された写真を差し上げます。
希望する方は市総務課(☎内線2234)まで



37番目の自主防災会結成

市内で37番目となる八坂区自主防災会の結成式は7月31日、細島地区コミュニティセンターで開かれました。

自主防災会は、「自分たちの地域は自分たちで守ろう」を基本理念に、防災活動を通じて防災意識の高揚と緊急時の被害軽減を図ることを目的としています。

結成式には、区民ら約40人が参加。規約や事業計画などの審議と併せ、会長に金丸整吉区長公民館長を選任しました。



花好きの人集まれ

市内の花好きの人たちで組織する日向市花づくり愛好会の設立総会が8月1日、中央公民館で開かれました。この会は、市が推進する花のあふれるまちづくり事業に協力しながら、花づくりを市民の間に浸透させることを目的としています。この日は、会員ら約60人が参加して会則や予算、事業計画などを話し合い、会長に切島山2区の花岡美良さんを選出しました。愛好会では、花づくりに興味のある方を募集しています。



古代衣装で町中をパレード

南部地区の一大イベントである「美々津・さいわきお船出まつり」が8月15・16日、耳川河口を主会場に行われました。ひまわりレディらが古代衣装をまとってのパレードで祭りが開幕し、伝統芸能の權伝馬(かいてんま)踊りの披露や耳川を挟んでの大綱引き、子どもたちによる魚のつかみどりなど多彩なイベントで会場周辺は賑わいました。また、16日には精霊流しと花火大会が行われ、多くの見物客が夏の夜を楽しみました。



国体出場を目指して熱戦

平成11年度国民体育大会第19回九州ブロック大会ソフトボール競技が、8月21日と22日の2日間の日程で行われ、お倉ヶ浜総合運動公園ほか市内2カ所で熱戦が繰り広げられました。20日の開会式では、九州各県の予選を突破した342名の選手が堂々と入場行進。

参加選手を代表して宮崎県少年男子の部主将の長友洋之さんが「栄冠を目指して力いっぱいプレイし、たくさんの思い出を作り出す」と宣誓しました。



日向しぜん探訪記

御崎ヶ鼻遊歩道から
金ヶ浜遊歩道までの探訪記 ②

鹿嶋神社の境内の中には、見事な花を咲かせる「ヤマツツジ」が一株あります。5月7日の午後3時ごろ、私を通りすがりにお参りしたとき、今まさに満開の花をしばし一人で楽しみました。

ここからは、遊歩道の終点日向サンパークまで残り500メートルとなりました。しばらくたどる玉砂利の浜は、大小の小石がゴロゴロしていて足元がおぼつかず歩きづらいので気をつけましょう。

ここを過ぎると、今まで歩いてきた遊歩道の所々からはるかに遠



「サテノキ」岬にあるあずまや

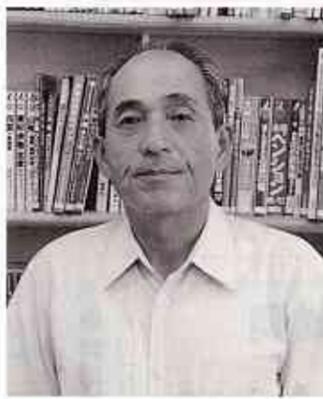
く見えていた「サキノテ」岬のあずまやもすぐそこで、コンクリート歩道をひと登りした岬の一角に、格好のお休みどころとしてそれは建っています。

この岬からこれまでのルートを振り返ると、直線で750メートル先の展望岬（私のつけた仮称）や3.5キロメートルほど先の御崎ヶ鼻（この遊歩道歩きの出発点）も確認できます。これらを見たとき、あそこからよく歩いてきたものだと、実感がわいてきます。さらに目をこらすと、櫛の山の仏舎利塔や米ノ山から日向岬一帯が一幅の絵のように遠望されます。

一方、南に転じると、すぐ目の前に小島の集まる七ツバエや美々津の灯台、はるかに都農、高鍋方面の海岸が見えます。そして、東方は、見渡す限り太平洋が開けています。

今回の遊歩道探訪記の終点である日向サンパークまで、残すところ後200メートルとなりました。このコーナーは、ふるさとの自然を守る会の小倉久信さん（原町）に寄稿いただいています。

私の一冊



佐々木寛次郎さん (66歳：山下)

一つで、大事な「私の一冊」です。矢口さんは「古典をマンガにするなら、奥の細道はぜひ私に」と言われただけあって、芭蕉の生い立ち・曾良とのみちのくの旅・数々のエピソード

読書は大好きですが、小さな活字は大の苦手で、近ごろは活字が大きく絵や写真の多い本を、好んで読んでいます。マンガ家の矢口高雄さんが書かれた「日本の古典・奥の細道」もそんな

を物語風にまとめ、小気味よいテンポで、古典の世界へと誘います。

また「閑かさや岩にしみ入る」の立石寺をはじめ、名句でおなじみの光堂・最上川などの情景が、マンガとは思えない一幅の名画となって目の前に展開します。だからでしょうか、何度読んでも、いつも心が洗われます。

日向市立図書館には、6万の蔵書がありますが、古典の面白さとマンガの素晴らしさを（逆だったかな）紹介したくて「マンガ・日本の古典」全32巻の中から「奥の細道」を、私の一冊に選びました。よろしかったら、たまにはマンガも読んでみてください。

◇ 9月の図書館休館日：9月11日、13日、15日、20日、23日、27日
◇ 開館時間：午前9時～午後6時30分
(土・日曜日は午後5時まで)



宮崎 あやさん (23歳：往還)

往還保育園に勤務しています。保母になって3年目。今年初めて0～1歳児クラスを担当しています。日一日と成長する子供たちを見てみると、毎日が驚きと喜びの連続です。

5月に姉の子供が生まれました。休日に会うのが楽しみです。

いきいき 青春トーク



黒木 盛光さん (23歳：高松)

岸上冷蔵(株)日向工場に勤務しています。入社して半年、冷凍機管理の国家資格を取得するために勉強中です。

休日には、ツーリングや魚釣りを楽しんでいます。近日中にも、会社の仲間と島浦へ夜釣りに行く予定です。



Yvonne McLoughlin
生年月日 1975年7月15日生 (24歳)
出身地 アイルランド・ダブリン市
趣味・特技 水泳、陸上競技、ゴルフ、旅行
話せる言葉 英語、日本語、フランス語、ドイツ語

日向市に在る間にサーフィンを覚えたいと思っています。
問 日向市の国際交流員について
答 地域レベルで国際交流のために、多くの人とふれあいたいと思います。そのために、外国の文化や料理などを紹介するイベントなどを計画したいと思います。
問 市民の皆さんへPRをどうぞ
答 皆さん、私と道端で出会ったときなどは、どんどん話しかけてください。「ハロー」でも「こんにちわ」でも何でも結構です。そして、私の計画するイベント等に、積極的に参加してください。よろしくお願ひします。

満1歳になったよ

お誕生日おめでとう



佐藤匠真くん
久徳・恵 (松原)

松葉萌美ちゃん
豊明・仁美 (亀崎2)

河野真依ちゃん
亨・浩子 (中原)

菊地駿輔くん
悟・和歌子 (切島山1)

柏田七海ちゃん
託男・智子 (平野)

新国際交流員に

イボンヌ・マクロックリンさん

第5代国際交流員のイボンヌ・マクロックリンさんにさまざまな質問に答えていただきました。

問 日本の印象について
答 とてもきれいな国ですね。以前住んでいた金沢では、神社や仏閣などを数多く観光しました。また、日本の皆さんは、とても優しく親切な人が多いですね。

問 日向市の印象について
答 金沢とは、また違った雰囲気があり、興味深いところがたくさんあります。特に、海がとてもきれいですね。

平成11年度「日向市長寿祝金」

市は、今年度75歳以上になられる高齢者の方々に敬老の意を表するとともに、ますますのご長寿を祈念し、次の日程で「長寿祝金」を支給します。該当する方には、ハガキで通知しますので、必ず指定期日にお受け取りください。

受領は代理の方でも構いませんが、通知書と印鑑（朱肉を使うもの）をご持参ください。

「長寿祝金」支給日程表

日時	午前			午後		
	場所	時間	地区	場所	時間	地区
9/6 (月)	日向市老人福祉センター	9:30~10:30 10:00~11:00	北町・都町・上町 本町・中町・南町	日向市老人福祉センター	1:30~2:30 2:30~3:30	本谷・西川内・西草場・春原・春原町 中原・高見橋通り・広見
	美々津老人福祉センター	10:00~11:00 11:00~12:00	幸臨地区	美々津老人福祉センター	1:30~2:30 2:30~3:30	美々津新町・立縫余瀬・田の原 石並・別府
9/7 (火)	日向市公民館	9:30~10:30 10:30~11:30	龜崎・龜崎東・龜崎西 龜崎南・向江町・鶴町	庄手公民館	1:30~2:30 2:30~3:30	庄手・梶木 大王谷・大王町・梶木町
	堀見農村婦人の家	9:30~10:30 10:30~11:30	中村・新財市・千束口・堀見ヶ丘	日向市老人福祉センター	1:30~2:30 2:30~3:30	日向台・高砂町 公園通り・舞の山団地・浜町
9/8 (水)	日知屋公民館	10:00~11:00 11:00~12:00	曾根町・塩田・塩田団地	日知屋公民館	2:30~3:30 3:30~4:30	伊勢ヶ浜・中郷町・平野町・山手町・堀一方・平野・深溝
	南日向公民館	10:00~11:00 11:00~12:00	笹野東・笹野中・笹野西・金ヶ浜 粉木・鶏毛・曙・本宮・美砂	細島公民館	1:30~2:30 2:30~3:30	宮の上・高々谷・古田町・八幡・庄手向・地藏 幡浦・吉野川・清正・八坂・伊勢
9/9 (木)	五十猛神社	9:30~11:00 10:30~12:00	比良町・山下・山下町・川路団地	切島山2区公民館	1:30~2:30 2:30~3:30	切島山2区 切島山1区
			往還・往還町・沖町・長江団地	比良・秋留	1:30~2:30 2:30~3:30	比良・秋留 松原

※9月6日(月)から10日(金)までは各地区で支給を行いますので、市役所での受領はできません。指定された日時に都合で受領できない方は、9月13日(月)及び14日(火)の午前10時から午後3時まで市民健康管理センター(市役所庁舎西側)へお越しください。

詳しくは、市福祉事務所(☎内線2169)へ。

警察では、9月を「行方不明者等捜索強化月間」として、県内6か所で開催します。ご家族の方が家出などで行方が分からずお悩み方は、ぜひご利用ください。相談は無料で、秘密は厳守します。ただし、相談に来られるときは、行方不明者の顔写真や身体的特徴など、手掛かりとなる資料をおもってください。

◇日時 9月14日(火)午前10時午後7時30分
◇会場 日向市総合福祉センター
◇問い合わせ 県警察本部鑑識課(☎0985-310110)または日向警察署(☎53-0110)

県立中部高等技術専門校の在校生
就職に有利な技術を学びませんか

◇科目及び募集人員 電子機器科/20人、電気設備科/20人、建築技術科/20人

◇応募資格 高校卒業(程度)者以上(平成12年3月卒業見込みの者を含む)
◇訓練期間 1年間(平成12年4月〜平成13年3月)
◇願書受付 9月1日(水)〜10月29日(金)
◇選考試験 11月12日(金)
◇選考方法 筆記試験(国語・数学)、適性検査、面接
◇合格発表 11月19日(金)
◇申込・問い合わせ 県立中部高等技術専門校(〒8

新体力・運動能力測定会
自分の体力年齢を調べてみませんか

市は、自分の体力年齢を知ることによって豊かなスポーツライフの推進を図ることを

84-0003 高鍋町大字南高鍋1770 ☎0983-2310523

目的に、「新体力・運動能力測定会」を開きます。皆さんもこの機会に、ぜひ参加してみませんか。

◇日時 ①20歳〜64歳/9月29日(水)、②65歳〜79歳/9月30日(木)
※時間は、いずれも午後7時から1時間程度です。
◇会場 日向市勤労青少年体育センター
◇測定項目 ①20歳〜64歳/握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20m

シャトルラン、立ち幅とび、②65歳〜79歳/握力、上体起こし、長座体前屈、開眼片足立ち、10m障害物歩行、6分間歩行
◇申込方法 9月27日(月)までに市社会体育課(☎内線2453)へ
※当日も受け付けます

9月は行方不明者等捜索強化月間です
行方不明者を捜す相談所を開設します

警察では、9月を「行方不明者等捜索強化月間」として、県内6か所で開催します。ご家族の方が家出などで行方が分からずお悩み方は、ぜひご利用ください。相談は無料で、秘密は厳守します。ただし、相談に来られるときは、行方不明者の顔写真や身体的特徴など、手掛かりとなる資料をおもってください。

◇日時 9月14日(火)午前10時午後7時30分
◇会場 日向市総合福祉センター
◇問い合わせ 県警察本部鑑識課(☎0985-310110)または日向警察署(☎53-0110)

話し合ったり、相談したりする人がいないお母さん、気軽に近くの保育園をのぞいてみませんか。きつと、たくさんのお友達ができますよ。

◇日時 毎週水曜日/午前9時〜11時
◇条件 親子同伴のこと
詳しくは、お近くの保育園におたずねください。

中国 濰坊市との交流のあゆみ
交流のあゆみをまとめた冊子を差し上げます

市は、友好都市・中国濰坊市との友好交流のあゆみをまとめた「友宜長存」という冊子を作りました。濰坊市とは、昭和62年2月25日に友好都市を締結し、これまで行政、議会、文化団体、経済団体、医師会など各界各層で活発な交流を展開してきています。今回、これらの活動を振り返るとともに、今後、さらに友好のきずなを深めるために、この冊子を作成したものです。

この冊子は、これまでに濰坊市を訪問された方には優先的に配布しますが、希望される方にも差し上げます。

宮崎県建設技術者養成所
中堅建設技術者を育成します

募集予定人員 男子77人、女子8人

詳しくは、市総務課(☎内線2223)へ。

宮崎県建設技術者養成所
〒889-1602 宮崎郡清武町大字今泉丙255
9-1-1)まで送付してください(受験資格審査の結果、申込書を受理したときは、

女子8人
◇応募資格 ①県内在住者で心身健全にして教育訓練に耐え得る独身の青年男女で昭和50年4月2日から昭和57年4月1日までに生まれた者、②高等学校卒業程度の学力を有する者
◇応募方法 ①宮崎県産業開発青年隊受験願書、②最終学校卒業(見込み)証明書、③最終学校成績証明書
を宮崎県建設技術者養成所(〒889-1602 宮崎郡清武町大字今泉丙255 9-1-1)まで送付してください(受験資格審査の結果、申込書を受理したときは、

10月1日までに受験票を送付します)
◇募集期間 9月1日〜30日(当日消印有効)
◇1次試験 10月7日(木)
◇問い合わせ 宮崎県建設技術者養成所(☎0985-185115)または(☎0985-1851388)
宮崎県産業開発青年協会(☎0985-1851388)

自衛隊日向募集事務所のお知らせ
自衛官を募集します

◇応募資格 平成12年4月1日現在で18歳以上21歳未満の男女
◇1次試験日 11月6日・7日
◇1次試験日 11月6日・7日
◇1次試験日 11月6日・7日

満の男女
◇受付期間 9月14日〜10月13日
◇1次試験日 11月13日・14日
◇1次試験日 11月13日・14日
◇1次試験日 11月13日・14日

《看護学生》
◇応募資格 平成12年4月1日現在で18歳以上22歳未満の男女
◇受付期間 9月14日〜10月13日
◇1次試験日 11月6日・7日

勤労青少年のみなさん 何かやってみようかなと思ったら ホームの教養講座へ

ホームの教養講座は、働く青少年が余暇活動の中で教養や知識を身につけるとともに、お互いの親睦を深め豊かな人間性を育てることを目的としています。ホームでは、平成11年度後期教養講座(平成11年10月〜平成12年3月)の受講生を次のとおり募集します。

◇開講式 10月8日(金)午後6時30分/青少年ホーム2階
◇受講料 無料(ただし、材料代等は自己負担)
◇応募資格 市内に居住または勤務する勤労青少年(職業訓練校生、求職中の方、家内労働者を含む)
◇応募方法 9月30日までにホーム利用証交付申請書に傷害保険料500円と後期友の会費500円(6か月分)を添えて、ホームに申し込んでください。申請書は、ホームの事務室にあります。

募集講座一覧表

講座名	期間	曜日	定員	時間/経費
いけ花教室(池の坊)	6か月	月曜日	35人	午後6時30分〜9時1回500円程度
絵画教室	"	"	20人	午後6時30分〜9時 道具は個人準備
料理教室	"	火曜日	35人	午後6時30分〜9時 材料代(1回500円程度)
茶道教室	"	"	25人	午後6時30分〜9時 菓子代(1回500円程度)
着付け教室	"	水曜日	25人	午後6時30分〜9時 着物類は個人準備
スポーツ教室(バドミントン)	"	"	60人	午後7時〜9時30分 羽根代(ラケットは個人準備)
スポーツ教室(テニス)	"	金曜日	20人	午後7時〜9時30分 ボール代(ラケットは個人準備)
陶芸教室	"	木曜日(第2・第4)	30人	午後7時〜9時 材料代(1回700円程度)
いけ花教室(小原)	"	金曜日	35人	午後6時30分〜9時 材料代(1回500円程度)
ゴルフ教室	"	木曜日	10人	午後7時〜9時 ボール代は個人負担
英会話教室	"	木曜日(第1・第3)	20人	午後6時30分〜8時

※自主クラブとして、「ミニバレーボール」「音楽愛好会」があり、随時募集しています。

乳幼児健診

■3か月児健診

とき◇9月10日(金)、21日(火)
対象◇平成11年6月生まれ

■7か月児健診

日時◇9月17日(金)
対象◇平成11年2月生まれ

■1歳児健康相談

日時◇9月7日(火)
対象◇平成10年8月生まれ

■1歳6か月児健診

日時◇9月16日(木)
対象◇平成10年2月生まれ

■3歳児健診

日時◇9月3日(金)
対象◇平成8年2月生まれ
※受付時間は、3か月児／午後1時～1時30分、7か月児・1歳6か月児・3歳児／午後1時～2時、1歳児／午前9時30分～10時です。母子健康手帳を忘れずに、健康管理センターへ。

●19日 ☆甲斐医院（外・胃腸☎53 5000） ☆児玉小児科医院（小児☎52 2530） ☆鮫島病院（精神・内☎54 6801）

●23日 ☆和田病院（内・外・脳外・整外☎52 0011） ☆緒方医院（内・小児☎53 6333） ☆田中眼科（眼☎52 4009）

●26日 ☆三股病院（内・外・整外・胃腸☎58 0034） ☆尾崎眼科（眼☎52 5600） ☆今給黎医院（内・循環☎54 2459） ☆寺尾医院（産婦☎63 1447）

※事前に、テレホンサービス（☎53-1214）で確認を。

会場で実施します。

この機会に、ぜひガン検診を受診してください。

●10月の胃ガン検診車巡回日程

◇6日(水)=永江公民館
◇7日(木)=細島公民館
◇8日(金)=日向消防署
◇13日(水)=日向保健所
◇14日(木)=庄手公民館
◇15日(金)=日向市役所
◇19日(火)=堀一方公民館
◇20日(水)=日向市役所
◇21日(木)=曾根公民館
◇22日(金)=日知屋公民館

受診を希望される方は、事前に市民健康管理センターまでご連絡ください。また、子宮ガンについては、来月号でお知らせします。

健康あれこれ

日本人の3人に1人が「ガン」で亡くなっていることをご存じですか。ガンが増える要因に、生活習慣の変化と高齢化社会があげられています。

私たちは、ガンに対する予防として、まず生活習慣の改善が必要と言えます。タバコや脂肪の多い食事を控え、野菜をとる生活を心掛けましょう。

そして、ガンは早期発見・早期治療により治る確率も高くなっています。年齢とともにガンになっている人は増えるので、30歳以上、特に高齢者の方は毎年ガン検診を受けておきましょう。

市は、市内各医療機関で大腸・子宮・乳ガン検診を11月末まで実施しています。また、10月には、胃ガン・子宮ガン集団検診を次の

子育てコーナー

●母親学級

◇9月22日(水)／妊娠中の健康管理・妊婦体操（体操のできる服装持参）

◇9月29日(水)／妊娠中の食事（要予約：エプロン持参）

時間は、22日が午後1時30分から、29日が午前10時からです。

●すくすく教室

◇日時=9月28日(火)午後2時～
◇対象=生後6か月までの乳児を育児中のお母さん・お父さん

◇内容=①身体測定、②離乳食づくり、③育児相談、④交流会など
※会場は、いずれの教室も市民健康管理センター。母子健康手帳を忘れずに。

9月の休日在宅医

●5日 ☆三ヶ尻医院（整外☎52 5557） ☆康田医院（産婦☎53 7788） ☆松岡医院（内☎52 5407） ☆沼田医院（皮・泌尿☎52 3785）

●12日 ☆浦上医院（内・外・胃腸☎52 2936） ☆稲原医院（眼☎52 2209） ☆ひむかクリニック（内・消化・呼吸☎56 0030）

●15日 ☆黒木医院（内☎52 6055） ☆萩原眼科（眼☎63 7222） ☆山元医院（小児☎53 6066） ☆大平医院（整外・内☎52 3337）

後編集

8月6日、広島市の平和祈念式典に参加してきました。式典の中で広島市長は「核兵器を廃絶する」という意志を若い世代に伝えていこう」と平和宣言を行いました。

世界恒久平和は、私たち人類の願いです。しかし、現在でも世界の至る所で戦争や紛争が絶えません。

今年も原爆の日及び終戦記念日がやってきました。

今一度、戦争の悲惨さについて考えてみませんか。そのことがきつと、世界恒久平和の実現への第一歩になると思います。《矢野》



●日向市の人口と世帯

		(H11.8.1現在)	
人口	58,927人	(-22)	
男	27,908人	(-13)	
女	31,019人	(-9)	
世帯数	21,703世帯	(-5)	
転入	203人	転出	249人
出生	53人	死亡	29人